

## トマト黄化葉巻病対策 ～ トマト抑制栽培に向けて～

トマト黄化葉巻病については、病虫害防除所及び農業改良普及センターによる調査では、幸い本年4月以降発生を認めていません。

これからトマトの抑制栽培が始まりますが、トマト黄化葉巻病とタバココナジラミ類を「入れない」、「増やさない」、「出さない」を基本として、次の事項を参考に対策を講じてください。

なお、トマト黄化葉巻ウイルス（TYLCV）を媒介するタバココナジラミ類は山城地域で発生を認めています（防除所ニュース第5号：平成18年8月4日発行）。しかし、タバココナジラミ類が発生していてもウイルスを保有していなければ、発病の心配はありません。

< タバココナジラミ類が確認された地域 >

1 トマト黄化葉巻病、タバココナジラミ類をハウス内に「入れない」

(1) 苗からの持ち込み防止

・苗を購入する場合は、コナジラミ類が寄生していないか、また、株の先端部の葉が黄色くなって表側に巻くトマト黄化葉巻病特有の症状を呈していないかを確認し、健全な苗を植え付ける。

(2) タバココナジラミ類の侵入防止

・タバココナジラミ類は野外の雑草等で生息しているので、周辺雑草を除草するとともに、ハウスへの侵入防止に努める（参考：図 タバココナジラミ類の年間発生パターン(模式図)）。

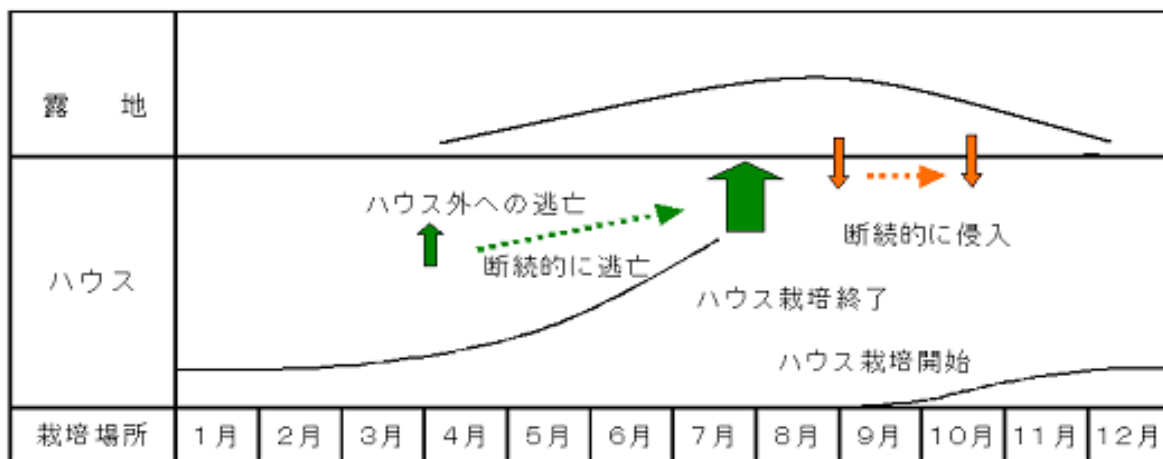


図 タバココナジラミ類の年間発生パターン（模式図）

(参考) タバココナジラミ バイオタイプBの生態

雌成虫の平均生存期間：室内条件(24～26℃)でトマトをエサとした場合 23日

1雌当たり平均産卵数：トマトをエサとした場合 176卵

卵期間：6～7日間(25℃条件下) 幼虫期間：トマトをエサとした場合

21日間(24～26℃) = 産卵から成虫の羽化まで約1か月

防虫ネット

・ハウスのサイドや出入り口、天窓等開口部すべてを、0.4mm目合いの防虫ネットで被覆する。

## 近紫外線カットフィルム

- ・天井ビニルに近紫外線カットフィルムを使用するとコナジラミ類のハウス内への侵入を抑制することができる。

## 黄色粘着ロール

- ・ハウス外周部に黄色粘着ロールを設置する。ロールを設置する高さは地上30cm程度とし、ハウスからは30cm程度間隔を空ける。

## 2 ハウス内で「増やさない」

### (1) タバココナジラミ類の防除

・タバココナジラミ類は短期間で急激に増殖し、容易に発生を確認できるような密度になると、農薬を散布してもその増殖を抑えることは困難であり、低密度時からの早めの防除が重要である。

#### ハウス内の雑草の除草

- ・タバココナジラミ バイオタイプBはトマトや雑草を含む28科75種の植物に寄生することが確認されている。そのため、ハウス内の雑草の除草と併せて、観葉植物等トマト以外の植物のハウス内への持ち込みも行わない。

#### 黄色粘着トラップの設置によるコナジラミ類の早期発見

- ・ハウス内の数カ所に、モニタリング用の黄色粘着トラップを設置して、コナジラミ類の早期発見に努める。
- ・トラップに誘殺を認めた場合は速やかに農薬を散布し、本虫の増殖を抑える。

#### 黄色粘着ロールの設置

- ・苗の定植時から、畝に沿って株の上方に黄色粘着ロールを設置し、タバココナジラミ類の誘殺に努める。ロールは株の生長に従って、上方へ移動させる。

#### 農薬による防除

- ・苗の定植時に粒剤を植穴施用し、生育初期からタバココナジラミ類が寄生しないように努める。
- ・黄色粘着トラップへの誘殺状況やトマト株での発生状況を観察し、防除時期を逸さないようにする。
- ・発生初期の防除を徹底する。薬剤は、葉裏までていねいに散布する。
- ・同一系統の薬剤の連用は薬剤感受性の低下につながるため、ローテーションを実施する。
- ・ラノーテープを使用する場合は、定植直後から使用する。
- ・ポタニガードES等の微生物農薬やオレート液剤等の気門封鎖剤は、発生初期の段階から使用する。

### (2) トマト黄化葉巻病発病株の除去

・発病した株は伝染源となるので速やかに抜き取り、袋に入れて密封して枯死させるか土中に埋めて処分する。

## 3 ハウスから外へ「出さない」

・前作の栽培終了後に、全株地際で切断するか抜き取った後、10日間以上密閉して蒸しこみ、ハウス内のコナジラミ類の密度を下げる。

## 4 タバココナジラミ類をハウス内で「越冬させない」

・トマト抑制栽培終了後、冬期に2～3週間の栽培休止期間を設けて、ハウスを開放し野外と同じ気温にし、タバココナジラミ類を死滅させる。

タバココナジラミ バイオタイプBでは、若齢幼虫初期に5℃の低温を4日間与えると生存率が低下する。＝野外における越冬は困難

タバココナジラミ類の発生が確認されていない地域(南丹以北)では、苗を購入する場合は、コナジラミ類が寄生していないか、また、株の先端部の葉が黄色くなって表側に巻くトマト黄化葉巻病特有の症状を呈していないかを確認し、健全な苗を植え付ける。

農薬の選定に当たっては、最新の登録情報を確認してください。